

2023年度 東京藝術大学

大学院音楽研究科（修士課程）入学者選抜試験

試験科目

((1)専門試験・(2)語学・(3)基礎学科目（音楽史）・(4)面接・(5)音楽に関する基礎能力検査）
（本冊子はこのページを含めて全26ページ）

※試験科目の内容について、電話等による問い合わせには応じない。

声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので参考までに記載する。

【 略 記 - 覧 】

専攻・声種・楽器名		略記	専攻・声種・楽器名		略記
作 声 楽 ・ オ ペ ラ	曲	／	器 古 楽	バロック声楽	BVo
	ソプラノ	S		バロックヴァイオリン	BVn
	メゾ・ソプラノ	Ms		バロックチェロ	BVc
	アルト	A		リコーダー	Rec
	カウンターテノール	Ct		チェンバロ	Cemb
	テノール	T		バロックオルガン	BOrg
	バリトン	Br		フォルテピアノ	FP
	バス	B		指揮	／
器 弦 楽 ・ 木 管 ・ 金 管 ・ 打 室	ピアノ	Pf	邦 音 楽 文 化 学	邦楽	／
	オルガン	Org		音楽学	／
	ヴァイオリン	Vn		音楽教育	／
	ヴァイオラ	Va		ソルフェージュ	／
	チェロ	Vc		音楽文芸	／
	コントラバス	Cb		音楽音響創造	／
	ハープ	Hp	●略記について● 1. 原則として2字以内にまとめた。 2. 頭文字は大文字を使い、2文字目は小文字とした。 3. 科目名等は日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。		
	フルート	Fl			
	オーボエ	Ob			
	クラリネット	Cl			
	ファゴット	Fg			
	サクソフォーン	Sx			
	ホルン	Hr			
	トランペット	Tp			
	トロンプーン	Tb			
	ユーフォニアム	Euph			
	チューバ	Tu			
	打楽器	Pc			
	室内楽	／			

2023年度「学生募集要項」の公表について

1. 公表時期 7月上旬
2. 公表方法

本学入試情報サイト (<https://admissions.geidai.ac.jp/>) 上で公表する。

(1) 専門試験

専攻	研究分野	課 題 曲 等
作曲	◎ 作曲専攻共通注意事項（作曲，エクリチュール） 下記に定める作品等を2023年1月27日（金）正午までに直接又は書留・速達郵便により音楽学部学生募集係に提出すること。ただし，音楽教育研究分野志願者で，作曲（エクリチュールは選択不可。19ページの音楽教育一般入試3.「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」を参照。）により受験する者の提出期限は，2022年8月26日（金）正午までとする。郵送による場合も上記期限までに音楽学部学生募集係に届くように発送すること。なお，2022年8月13日（土）から2022年8月21日（日）まで本学が夏季休業期間のため，直接音楽学部学生募集係に提出することができないので注意すること。	
	作 曲	二管編成以上の管弦楽作品，およびアンサンブル作品（演奏者2名以上8名以内で声楽を含むもの可）の，各1曲の楽譜を提出する。
	エクリチュール	1. 任意のジャンルの作品1曲の楽譜を提出する。 2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。（6時間） 3. 和声（アルテルネ）課題の実施。（5時間） 4. ピアノによる数字付きバス，および旋律の和声付け試験。 5. 総譜初見視奏。 4，5は予見合計20分 6. モーツァルト，ベートーヴェン，シューベルト，メンデルスゾーン，シューマン，ブラームスの交響曲から指定された楽章の，総譜によるピアノ演奏。 課題の作品，楽章は2022年12月9日（金）14時に発表する。

●作曲専攻の試験日程について

本研究科（修士課程）入学試験において，作曲専攻の試験については，全ての試験を2023年2月に行う。

詳細な日程は募集要項にて確認すること。

※作曲専攻 Web 出願受付期間は2023年1月5日（木）から2023年1月12日（木）まで。

●口述試問について

作曲研究分野及びエクリチュール研究分野において口述試問を課す。

大学院音楽研究科(修士課程)作曲専攻の学位審査科目の「修士論文」に関する，テーマと研究方法について口述試問を行う。「修士論文」作成のため，外国語文献読解のために必要な語学力が求められる。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
声 楽	ソ プ ラ ノ (S)	●歌唱実技試験（第1回試験、第2回試験） 提出曲 受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1回試験：以下のA、B、Cの各分野より1つの分野を選択し、その分野より任意の1曲を提出する。 第2回試験：第1回試験と同一分野より任意の1曲（ただし、第1回試験の演奏曲として提出する曲目とは異なる曲目）、残る2つの分野より任意の曲を2曲ずつ提出する。 A分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B分野：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C分野：歌曲
	メゾソプラノ (Ms)	
	ア ル ト (A)	
	カウンターテノール (Ct)	
	テ ノ ー ル (T)	※ オペラ、オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが、移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。 歌唱実技試験 第1回試験：第1回試験の演奏曲として提出した1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。 第2回試験：第2回試験の演奏曲として提出した1曲と、試験当日、本学が記号（イ、ロ、ハ、ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲、適宜カットしてよい）。演奏曲順は自由。 ※ 第1回試験及び第2回試験ともに、演奏はピアノ伴奏とする。志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。
	バ リ ト ン (Br)	
	バ ス (B)	●新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者には課さない。） 第2回試験終了後、引き続き行う。開始時刻等については、第1回試験合格発表時の日程等発表を確認すること。 ※ 上記出身者に該当するかどうか判断できない志願者は、事前に本学音楽学部学生募集係に問い合わせること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
オペラ	ソ プ ラ ノ (S)	●歌唱実技試験（第1回試験，第2回試験） 提出曲 受験曲目提出用紙の書式に従って原語で記入すること。 第1回試験：以下A分野より任意の1曲を提出する。 第2回試験：以下A分野より任意の1曲（ただし，第1回試験の演奏曲として提出する曲目とは異なる曲目），B分野より任意の2曲，C分野より任意の2曲を提出する。 A分野：モーツァルト以降の作曲家（モーツァルトを含む）によるオペラ作品の独唱曲（コンサート・アリアを含む）。 B分野：オラトリオ，ミサ曲，カンタータ等の宗教的独唱曲。 バロック・オペラ，世俗カンタータ，マドリガーレ等の世俗的独唱曲。 C分野：歌曲 ※ オペラ，オラトリオ等のアリアは原調・原語。歌曲については原語とするが，移調は自由。慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。 歌唱実技試験 第1回試験：第1回試験の演奏曲として提出したA分野の1曲（4分以内）を暗譜で演奏する。 第2回試験：第2回試験の演奏曲として提出したA分野の1曲と，試験当日，本学が記号（イ，ロ，ハ，ニ）で指定する2曲の計3曲を9分以内（曲間を含む）にまとめて暗譜で演奏する（各曲，適宜カットしてよい）。演奏曲順は自由。 ※ 第1回試験及び第2回試験ともに，演奏はピアノ伴奏とする。志願者が伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。
	メゾソプラノ (Ms)	
	ア ル ト (A)	
	カウンターテノール (Ct)	
	テ ノ ー ル (T)	
	バ リ ト ン (Br)	
	バ ス (B)	●新曲視唱（音大及び音楽関係学部・学科等の出身者には課さない。） 第2回試験終了後，引き続き行う。開始時刻等については，第1回試験合格発表時の日程等発表を確認すること。 ※ 上記出身者に該当するかどうか判断できない志願者は，事前に本学音楽学部学生募集係に問い合わせること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器	ピ ア ノ (Pf)	以下の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。 a) バロックから古典派までの作品。但し、8分以上とする。 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。但し、内部奏法等を含んだ作品は除く。） 注）1）演奏は暗譜とする。 2）繰り返しは自由とする。 3）a) b) 共、複数曲でも可。 4）ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5）時間の都合により一部を省略させることがある。
	オ ル ガ ン (Org)	(A) 課題曲 (1) 北ドイツ楽派の大規模な Toccata、Praeludium、Praeambulum の中から任意の一曲 (2) J. S. Bach : 6つの Triosonate BWV525－530の中から任意の一曲（全楽章） (3) 17～18世紀のフランスの作曲家による Tierce en taille または Cromorne en taille (4) F. Liszt : Präludium und Fuge über BACH (5) L. Vierne : 24 Pièces de Fantaisie より Naïades (6) W. Albright: Organbook III より Finale – The Offering (注) 時間の都合により一部省略することができる。 ○試験日以前にレジスタータイムを2回与える。 (B) 即興実技 数字付低音による課題を初見で実施する。 なお、当日10分間の試奏時間を与える。ただし書き込みはできない。 （次ページに続く）

専攻	研究分野	課 題 曲 等		
器 <				

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 弦 楽 楽	弦	◎ 弦楽研究分野共通注意事項 (ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ハープ) ○演奏はすべて暗譜とし、繰り返しは省略する。 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。
		ヴァイオリン (Vn) 1. 次の中から任意の1曲 (全楽章) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 次の中から任意の1曲の第1楽章 (1) L. v. Beethoven : Concerto D major Op.61 (カデンツァは自由) (2) J. Brahms : Concerto D major Op.77 (カデンツァは自由) (3) F. Mendelssohn : Concerto E minor Op.64
		ヴィオラ (Va) 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.1 (BWV1007), No.2 (BWV1008), No.3 (BWV1009), No.4 (BWV1010) より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. Palaschko : 20 Studies Op.36より No.20 (Hunting) 3. 次の中から任意の1曲 (1) B. Bartók : Concerto (第1楽章) (最後のカデンツァを含む) (シェルイ版, 改訂版どちらでも可) (2) W. Walton : Concerto (第1楽章, 第2楽章)
		チェロ (Vc) 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.4, No.5, No.6より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 次の中から任意の1曲 (1) J. Haydn : Concerto D major Op.101 (全楽章, カデンツァを含む) (2) A. Dvořák : Concerto B minor (全楽章) (3) R. Schumann : Concerto A minor (全楽章) (4) E. Elgar : Concerto E minor Op.85 (全楽章) (5) D. Shostakovich : Concerto No.1 Op.107 (全楽章)
		コントラバス (Cb) 1. Hans Fryba : A Suite in the Olden Style より Prélude Allemande Gigue 2. 次の中から任意の1曲 (全楽章) (1) K. D. Dittersdorf : Concerto E major (2) J. B. Vanhal : Concerto D major (3) G. Bottesini : Concerto No.1 F sharp minor (4) G. Bottesini : Concerto No.2 B minor (5) S. Koussevitzky : Concerto F sharp minor
		ハープ (Hp) 1. 次の中から任意の1曲 (1) C. P. E. Bach : Sonata F major 又は G major (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) (2) G. F. Händel : Concerto (全楽章, 何版でも可。繰り返しは無しとする。) 2. 次の中から任意の1曲 (1) Fauré : Impromptu (2) Tailleferre : Sonata (全楽章)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 楽	管 打 楽	◎ 管打楽研究分野共通注意事項 ○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。 ○志願者は譜めくりをする者を同伴しても良いが、志願者同士の譜めくりは禁止する。 ○出版社の指定のないものは、何版でもよい。 ○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。 ○特に指定のないものは、全楽章とする。
		フルート (Fl)
		オーボエ (Ob)
		クラリネット (Cl)
		ファゴット (Fg)
		サクソフォーン (Sx)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 室	内	◎ 室内楽研究分野共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏) ○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。譜めくりをする者を同伴しても良い。 ○ピアノを個人で受験する場合、共演する楽器はヴァイオリン限定とする。 ○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。
		弦楽四重奏 グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18の1 - 6 2. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59の1,2,3, Op.74, Op.95 3. 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)
		三重奏 ピアノとヴァイオリンとチェロ グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 2. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Fauré, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 3. 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)
楽 室	内	I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。 ① ヴァイオリンとピアノの二重奏 A群 Beethoven:Sonaten für Klavier und Violine (全10曲) より一曲選択 (全楽章) B群 以下のソナタより一曲選択 (全楽章) Schubert:Fantasie für Violine und Klavier Op.159,D 934 Brahms:Sonate für Klavier und Violine G-dur Op.78 Brahms: Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.100 Brahms: Sonate für Klavier und Violine d-moll Op.108 Strauss: Sonate für Klavier und Violine Es-dur Op.18 Schumann: Sonate für Klavier und Violine a-moll Op .105 Franck: Sonate pour violon et piano Fauré:Sonate pour violon et piano No.1 Op.13 C群 A, B群の作曲家と時代の異なる作曲家のヴァイオリンとピアノの二重奏作品 ② ヴィオラとピアノの二重奏 A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Op.5- 3 Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Märchenbilder Op.113 B群 Bowen : Sonata for Viola and Piano No.1 Op.18 R. Clarke : Sonata for Viola and Piano Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11- 4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier,1939 Shostakovich : Sonata for Viola and Piano Op.147 C群 A, B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品 (次ページに続く)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 室	内	③ チェロとピアノの二重奏 A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B群 Shostakovich : Sonata for Violoncello and Piano in d Op.40 Prokofiev : Sonata for Violoncello and Piano Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for Violoncello and Piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano C群 A, B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品 II 個人で受験する場合 各楽器とも以下の1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。
		① ピアノ 1. Chopin:Etudes Op.10,Op.25より3曲選択する。内訳は、以下の3つの群より1曲ずつとする。3曲を準備して、当日抽選によりその中から2曲を演奏する。 a群 Op.10-2, 10-7, 25-4, 25-6, 25-8, 25-10, 25-11 b群 Op.10-1, 10-4, 10-5, 10-8, 10-12, 25-12 c群 Op.10-10, 10-11, 25-3, 25-5, 25-9 2. 前記のグループ受験課題曲 <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏 A 群</u>の中から任意の1曲。 3. <u>ヴァイオリンとピアノの二重奏 B 群</u>から任意の1曲。 ② ヴァイオリン 1. 次の中から任意の1曲 (全楽章) J. S. Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲 ③ ヴィオラ 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から No.1 (BWV1007), No.2 (BWV1008), No.3 (BWV1009), No.4 (BWV1010) より1曲を選び、Prélude, Allemande, Courante を演奏すること。 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲 ④ チェロ 1. J. S. Bach : Solo Suites の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲 A 群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲

専攻	研究分野		課 題 曲 等
器 楽	室	二 重 奏 ピアノとフルート	グループ受験の課題曲は以下の3曲とする。 1. Schubert : Introdution und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonata for Flute and Piano in D Op.94 3. Isang Yun : “Garak” for Flute and Piano (個人での受験は認めない)
	内 楽	木 管 五 重 奏	グループ受験の課題曲は以下のとおりとする。 1. György Ligeti : Sechs Bagatellen für Bläserquintett (Schott 版) 2. A・B群より各々1曲ずつ演奏すること。 A群 Franz Danzi : Bläserquintett B-dur Op.56 Nr.1 Anton Reicha : Bläserquintett Es-dur Op.88 Nr.2 B群 Paul Hindemith : Kleine Kammermusik Op.24 Nr.2 Jean Françaix : Quintette (個人での受験は認めない)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 楽	古	《注意事項》 1) 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 2) 鍵盤楽器以外の志願者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック音楽志願者が必要なオブリガート楽器や、バロックヴァイオリン分野のコンチェルトのオーケストラパートは、チェンバロで代用すること。 3) チェンバロ分野、バロックオルガン分野、バロックチェロ分野の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 4) すべて課題曲の演奏順は自由とする。当日は、曲目提出用紙に記入した順に演奏すること。 5) 選択型の課題曲の場合、過去の年度に受験したことのある者はその時と重ならないように選択することを推奨する。 6) 演奏する作品の楽譜すべてをコピーし、A4判で一冊にまとめたものを4部作成し、出願と共に本学音楽学部・学生募集係宛に提出すること。その際、「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて書留速達により郵送すること。 7) ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、以下の2台である。 ① a'=415のフレンチタイプ（音域 FF-f''', 8'8"4' ヤング第2調律） ② a'=415のイタリアンタイプ（音域 C/E-c''', ※F#, G#, d#/eb, g#/ab, a#/bb, d#/eb, g#/ab, a#/bb, d#/eb の分割鍵盤あり、8'8" ミーントーン調律） ※なお、伴奏のために a'=440のフレンチタイプ（音域 FF-f''', 8'8"4' ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。 8) フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430の18世紀末ウィーン式モデル（音域 FF-g'''）である。 9) チェンバロ分野、フォルテピアノ分野の志願者には、実技試験の行われる楽器で試奏する時間を事前に1回与える。 10) バロックオルガン分野の志願者については、下記の点に留意すること。 ※ レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※ 実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスポジションについては、オルガン研究分野の項（7頁）を参照のこと。
	バロック音楽 (BVo)	1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、15分～20分程度のプログラムを構成し演奏する。 [伴奏楽器はチェンバロ（《共通の注意事項》参照）のみとする。基準ピッチの選択は採点に影響しない。] ① イタリア初期バロック期の独唱曲。 例) G. Caccini, C. Monteverdi, S. D'India, G. Frescobaldi の作品 ② J. S. Bach のレチタティーヴォ付きアリア、またはアリアのみ。 ③ 上記①②以外の作曲家による1800年までの独唱曲。 [プログラム全体の中に伊・独・仏・英語のうち少なくとも2つの言語の歌詞が含まれているように留意すること。またプログラムの中にレチタティーヴォ（ないしはレチタールカンタンド様式の作品）が1つは含まれていること。] 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。（予見時間5分）
	バロックヴァイオリン (BVn)	1. 次の3つのカテゴリーそれぞれから作品を選び、25分程度のプログラムを構成し演奏する。楽章の選択、繰り返しは自由とする。 ① 無伴奏曲 例) J. S. Bach : Sei Solo à violino BWV1001-1006, G. P. Telemann : 12 Fantasien, J. P. Westhoff : 6 Suiten, J.H. Roman : Assaggi, etc. ② フランスの「通奏低音付きソロ作品（ソナタ、コンセール、組曲等）」 例) J-M.Leclair, F.Couperin, J-F.Rebel, F.Francoeur の作品 ③ イタリアまたはドイツの「通奏低音付きソナタ」または「コンチェルト」 例) A. Corelli, A. Vivaldi, C. A. Lonati, G. F. Handel, F. Geminiani, J.S. Bach, F. Benda の作品 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。（予見時間5分）

専攻	研究分野	課 題 曲 等
器 楽	古	バ ロ ッ ク チ ェ ロ (BVc) 1. 次の①～③を演奏する。 ① Geminiani : Sonate C-dur op.5-3 の第 1, 2 楽章 (繰り返しは自由) ② G. M. Dall'Abaco : Ricercar から任意の 1 曲 ③ J. S. Bach : Suite a violoncello solo senza basso No.1～4 (BWV 1007-1010) から任意の組曲を選び、プレリュード以外の楽章を演奏する (繰り返し省略)。 [楽器と弓のスタイル (モダン仕様かバロック仕様かなど) は問わないが、ガット弦を使用すること。基準ピッチは $a' = 415$ とする。①に関してはチェンバロ奏者とともに演奏すること。] 2. アンサンブル課題 : G. F. Handel : Sonate for Violin and Basso Continuo D major (HWV371) から第 1 楽章および第 2 楽章を、本学の用意したソロ奏者と、志願者が同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。 3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。(予見時間 5 分)
	古	リコーダー (Rec) 1. 次の①～④を演奏する。 ① A. Virgiliano : “IL DOLCIMELO” より任意のリチュエルカータ 1 曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ、移調は自由。] ② J. -M. Hotteterre : 作品 2 (1715年の第 2 版) 又は作品 5 (1715年) より任意の組曲 1 曲 (全楽章)。 [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, F 管アルト・リコーダー使用の場合は適した調性に移調すること。ピッチは $a' = 415$] ③ J. S. Bach : Partita イ短調 BWV 1013 より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, F 管アルト・リコーダー使用の場合はハ短調に移調して演奏, ピッチは指定しない] ④ A. Vivaldi : 協奏曲 RV441, 443, 444, 445 から 1 曲 (全楽章)。 [RV441は F 管アルト, RV443, 444, 445 は F 管ソプラニーノを使用。ピッチは $a' = 415$] 2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで演奏する。(予見時間 5 分)
	楽	チェンバロ (Cemb) 1. 次の①～⑤を演奏する ① 次のイ)～ハ) から任意の 1 曲 イ) J. P. Sweelinck : Fantasia Chromatica (d1, SwWV 258) ロ) W. Byrd : Fantasia in a (Musica Britannica XXVII- No.13) ハ) G. Frescobaldi : Capriccio sopra la Bassa Fiamenga ② J. H. d'Anglebert または L. Couperin の任意の Prélude non mesuré を 1 曲。 ③ 次の J. J. Froberger の組曲イ), ロ) から任意の 1 曲 イ) 組曲ハ長調 (FbWV 612, Lamento で始まるもの) ロ) 組曲ニ長調 (FbWV 620, Meditation で始まるもの) ※各楽章, 前半は繰り返しを行い, 後半は繰り返しなしで演奏する。 ④ J. S. Bach の Toccata fis-moll (BWV 910), c-moll (BWV 911), g-moll (BWV915), D-dur (BWV 912) から任意の 1 曲。 ⑤ 次のイ)～ニ) から任意の 1 曲 イ) J. P. Rameau : La Poule ロ) J. P. Rameau : La Dauphine ハ) A. & J. B. Forqueray : Jupiter ニ) P. Royer : La Marche des Scythes 2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器 (または声楽) のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間10分)

専攻	研究分野	課 題 曲 等
邦	◎ 邦楽専攻共通注意事項 ○ 志願者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○ 志願者は、志願する部門に応じて以下の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の志願者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。	
	三味線音楽	長 唄 三 味 線 「賤機帯」(四世 杵屋三郎助(十世 杵屋六左衛門)作曲)
		常 磐 津 三 味 線 「積恋雪関扉 上」(初世 鳥羽屋里長(二世 岸澤式佐)作曲)
		清 元 三 味 線 「傀儡師」(初世 清元斎兵衛作曲)
		長 唄 「賤機帯」(四世 杵屋三郎助(十世 杵屋六左衛門)作曲)
		常 磐 津 「積恋雪関扉 上」(初世 鳥羽屋里長(二世 岸澤式佐)作曲)
		清 元 「傀儡師」(初世 清元斎兵衛作曲)
		(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の志願者は、各自使用する楽器を持参する。
	箏 曲	山 田 流 箏・箏歌 「桜狩」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「竹生島」(千代田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際に、持参・借用の別を記入すること。
		生 田 流 箏 「青柳」(石川勾当 作曲) 「虫の歌」(宮城道雄 作曲) 三絃 「玉川」(国山勾当 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。 三絃は各自持参の楽器を使用する。
楽	尺 八 琴古流による志願者……1.「真虚霊」(初世黒澤琴古編曲) 2.「虚空鈴慕」(同上) 3.「鹿の遠音」(同上) 都山流による志願者……1.「岩清水」(流祖中尾都山作曲) 2.「峰の月」(同上) 3.「懐月調」(同上) ○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は三浦琴童譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜によること。	
	共通曲……………1.「須磨の嵐」(山登万和 作曲) 2.「萩の露」(幾山検校 作曲) ○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による志願者は竹友社発行譜、都山流による志願者は都山流尺八楽会公刊譜によること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。 ※ 出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要事項を記入の上、提出すること。	

専攻	研究分野	課 題 曲 等
邦 楽	能 楽	観世流または宝生流による志願者…謡曲独吟「花筐クセ」及び仕舞「花筐クルイ」 ワキ方宝生流による志願者……………謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による志願者……………小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……………「楽」 (ロ) 小鼓……………「楽」 (ハ) 大鼓……………「楽」 (ニ) 太鼓……………「楽」 ※ 出願の際は、所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲）（笛） 注1） 1， 2 の伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 2） 楽器は各自持参すること。
	日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲とも試験官の指定した箇所を踊る。 注1） 録音テープは、清元はビクター版の「清元志寿太夫全集」、長唄はコロムビア版「日本舞踊吾妻流試験課題曲」より芳村伊十郎による音源を使用する。指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部学生募集係に連絡すること。 2） 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	研究計画書 大学院修士課程における各自の研究について、①修士課程での研究テーマと、そのテーマを選んだ理由、②そのテーマに関連してこれまでに自分が参照した研究等（それに対する自分の評価も含めて書くこと）、および③修士課程における具体的な研究計画（横書き、計1600字程度、手書き不可）を日本語で作成し、PDF ファイルに変換して「インターネット出願サイト」に出願時にアップロードすること。なお、研究計画書には氏名を記載しないこと。
		1. 音 楽 学 試験時間：2 時間 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、日本・東洋音楽史、音楽民族学の 5 部門から 2 部門を選んで受験する。 2. 口述試問
	音 楽 教 育	1. 小論文 試験時間：2 時間 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、邦楽の各専攻、または音楽文化学専攻音楽学研究分野のいずれか一つを選択し受験する。ただし、作曲専攻エクリチュール、オペラ専攻、器楽専攻室内楽研究分野、指揮専攻は本試験において選択できない。 作曲研究分野により受験する者は、任意の作品を 1 曲以上提出する（提出期限については、3 ページを参照のこと）。併せて、提出作品についての口述試問を課す。 また、器楽専攻ピアノ研究分野により受験する者は次の課題曲を演奏すること。 ●ピアノ課題曲 1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲 1 曲（全楽章）及び 2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲 3 曲 （注）1）繰り返しは省く。 2）演奏は暗譜とする。 3）演奏の一部を省略することがある。 4）本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。 上記以外を選択し受験する者は、当該専攻および研究分野の試験と同一の内容とする。 ただし、声楽専攻により受験する者は、声楽専攻第 1 回試験のみ受験すること。
		1. 研究計画 試験時間：2 時間 2. 口述試問 3. 専攻論文 音楽科教育に関する指定されたテーマについて、1,600字以内で論述する。試験時間：2 時間

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ実技試験 1) ピアノによる聴音書き取り（単旋律、複旋律、四声体和声） 2) 各種音部記号（ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号）による初見唱 3) ピアノ初見奏 4) 和声課題（バスおよびソプラノ課題による四声体和声） 2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分 3. 口述試問 4. ピアノ実技試験 次の課題曲を演奏すること。 1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲1曲（全楽章） 2) Chopin の練習曲 Op.10及び Op.25より任意の曲3曲 （注）1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部分を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
	音楽文芸	1. 専攻論文 試験時間：2時間 2. 小論文 試験時間：2時間 3. 口述試問 口述試問では、出願時に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、(1) 音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2) 修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を各々800字以内で具体的に書いておくこと。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽音響創造	1. 聴試試験 出題された音源に関して以下の観点で回答する設問 (1) 音楽的特質 (2) 音響的特徴 (3) 批評 2. 記述試験 楽典、音楽史、音響学等の知識を問う設問 ※試験時間は、「聴試試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。 3. 口述試問 研究計画書、作品あるいは論考に即し、20分程度の試問を行う。 ※ 出願時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、他の必要書類と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、他の必要書類とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「東京藝術大学音楽学部学生募集係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品(または論考)』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。 (A)「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を2000～3000字で具体的に記述すること。Word等で作成した文書を所定様式の点線枠内に貼付すること。 (B)「作品あるいは論考」について 以下(1)、(2)、(3)のいずれかを提出すること。 (返却しない) (1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。 (2) 録音技術の評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)。 (3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(形式は自由) (*) 音のみの作品の場合はCD-R、DVD-R、Blu-rayで、映像をともなう場合はDVD-R、Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。

(2) 語学

専攻	研究分野等	試験内容
作曲 声楽 指揮	全研究分野	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分
邦楽	全研究分野	国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分
音楽文化学	音楽学	英・独・仏・伊・露・西語の中から2科目選択……大学学部卒業程度 ただし、「日本・東洋音楽史」ならびに「音楽民族学」志願者は、うち1科目のみ選択し受験する。 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）。ただし1科目の場合1時間30分。
	音楽教育	●「楽器等の実技試験（邦楽専攻を除く。）」の選択者 英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分 ●「楽器等の実技試験（邦楽専攻）」の選択者 国語古文1科目……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分 ●「音楽学の筆記試験」の選択者 英・独・仏・伊・露・西語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：1時間30分
	社会人入試	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分
	ソルフェージュ	英・独・仏・伊語の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分
	音楽文芸	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文の中から2科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用不可 試験時間：3時間（1時間30分×2科目）
	音楽音響創造	英・独・仏・伊・露・西語・国語古文の中から1科目選択……大学学部卒業程度 ※辞書使用可（電子機器の物は除く。） 試験時間：1時間30分

(3) 基礎学科目（音楽史）

専攻・研究分野	試験内容
全研究分野 (作曲専攻を除く)	音楽史について 1. 声楽を中心とする音楽史（西洋音楽史） 2. 鍵盤楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 3. 弦楽・管打楽器を中心とする音楽史（西洋音楽史） 4. 日本を含む東洋音楽史 出願時、上記4系列から1系列を選択する。各系列においてそれぞれ3問題ずつ出題するので、志願者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 ただし、音楽文化学専攻志願者は、出願時、上記4系列から1系列を選択する必要はなく、出題される全12問題の中から系列を問わず任意に2問題を選択し解答する。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間
作曲専攻	音楽史（西洋音楽史、日本を含む東洋音楽史）に関して計6問題を出題するので、志願者は、その中から任意に2問題を選択し解答する。 出願時に系列を選択する必要はない。 出題程度は、専門の音楽大学における各科またはコース別音楽史概説の程度を超えないものとする。試験時間：2時間

(4) 面接

専攻・研究分野	試験内容
古楽	志願者全員
オルガン・管打楽・ 指揮・邦楽専攻	(1) 他大学出身者 (2) 本学出身者のうち、学部の専攻と受験する修士課程の研究分野・楽器が異なる者
作曲専攻・声楽専攻・ オペラ専攻・ ピアノ・弦楽・室内楽・ 音楽学・音楽教育・ ソルフェージュ・ 音楽文芸・音楽音響 創造	面接を行わない。

(5) 音楽に関する基礎能力検査

①「基礎能力検査」受験対象者及び試験内容

他大学出身者（本学出身者を除く）のうち以下に指定する研究分野等の志願者には、以下の通り「基礎能力検査」を課する。

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
作曲 声楽 オペラ ピアノ オルガン 弦楽 管打 室内 古指		実施しない。
三味線音楽	長唄三味線	「長唄」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「時雨西行」（二世杵屋勝三郎作曲）
	常磐津三味線	「常磐津」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）
	清元三味線	「清元」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞，川口直作曲）
	長唄	「長唄三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「時雨西行」（二世杵屋勝三郎作曲）
	常磐津	「常磐津三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「将門」（宝田寿助作詞，五世岸沢式佐作曲）
	清元	「清元三味線」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） 課題曲：「北州」（大田蜀山人作詞，川口直作曲）
箏曲	山田流	「口述試問」（志望理由及び山田流箏曲の専門知識についての審査）
	生田流	「箏曲音楽理論」 （楽器〈箏・十七絃・三絃〉及びそれらの取扱い，調絃，楽譜，演奏法，唱歌，歌唱法など生田流箏曲全般にわたる専門知識についての口述試問。）
尺八	八	「箏」または「三絃」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
能楽	楽	「能楽囃子」実技（専攻実技試験に引き続き行う。） （四拍子より1楽器を演奏する。自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
能楽囃子	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器・謡曲を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
邦楽囃子	囃子	専攻以外の四拍子より1楽器を演奏する。（専攻実技試験に引き続き行う。） （自由曲とする。） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。
日本舞踊	踊	次の中から1つを選択し受験すること。 1. 長唄三味線：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 2. 常磐津三味線：「松島」（河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲） 3. 清元三味線：「四君子」（鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲） 4. 長唄：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） 5. 常磐津：「松島」（河竹黙阿弥作詞，六代目岸沢式佐作曲） 6. 清元：「四君子」（鎌田徳之助作詞，二世清元梅吉作曲） 7. 邦楽囃子（四拍子より1楽器を選択）：「五郎時致」（十代目杵屋六左衛門作曲） *演奏する曲目名等を本学所定の受験曲目提出用紙に記入し，出願時に提出しなければならない。

（次ページに続く）

受験対象者		基礎能力検査科目及び試験内容
研究分野	楽器名等	
音楽学	音楽美学 西洋音楽史	ピアノ、聴音、初見唱、楽典。ただし出願時の申し出により、ピアノに代えて、オルガン、弦楽器、管楽器、打楽器（小太鼓独奏またはマリンバ独奏）で受験することもできる。弦楽器及び管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽専攻弦楽研究分野及び管打楽研究分野の志願者が出願できる楽器に限る。
	音楽民俗学 日本・東洋音楽史	実施しない。
音楽教育	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽専攻」を選択しなかった者	ピアノ（ピアノ研究分野志願者には課さない。）、聴音、初見唱、楽典
	「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」において「邦楽専攻」を選択した者	本表、三味線音楽、箏曲、尺八、能楽、能楽囃子、邦楽囃子および日本舞踊各研究分野の項記載の通り実施する。
	社会人入試	実施しない。
ソルフェージュ		実施しない。
音楽文芸		実施しない。
音楽音響創造		実施しない。

② 基礎能力検査科目「ピアノ・聴音・初見唱・楽典」の試験内容

基礎能力検査科目	試験内容
ピ ア ノ	ハイドン、またはモーツァルトのソナタより1曲を選択し、任意の楽章を演奏する。 (注) 1) 繰り返しは除く。 2) 楽譜を見ても良い。 3) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。 音楽学研究分野志願者でピアノに代えてオルガン、弦楽器、管楽器、打楽器（小太鼓独奏またはマリンバ独奏）で受験する者は、自由曲とする。出願時に本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。
聴 音	26 ページ例題の程度
初 見 唱	26 ページ例題の程度
楽 典	試験時間 1 時間

基礎能力検査（聴音・初見唱）

例題

● 聴音書き取り

1) 单旋律

A musical score for the song 'The Rose Tree'. It consists of two staves. The top staff is in treble clef, 6/8 time, with a key signature of one flat (Bb). The bottom staff is in bass clef, also in 6/8 time, with a key signature of one flat (Bb). The melody is written on the top staff, and the accompaniment is written on the bottom staff. The music features a mix of eighth and sixteenth notes, with some rests and a final double bar line.

2) 複旋律

The image displays a musical score for the song "The Rose Tree" in 2/4 time. The score is written for a piano, with a treble staff and a bass staff. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 2/4. The melody is primarily in the treble staff, while the bass staff provides a harmonic accompaniment. The score includes various musical notations such as notes, rests, accidentals, and dynamic markings like *mf* and *f*. There are also some performance instructions in Italian, such as "Crescendo" and "diminuendo". The score is divided into four measures, with a repeat sign at the end of the first measure. The overall style is that of a traditional folk song.

3) 四声体和声

A musical score for the song "The Rose Tree". It is written for piano in G major and 2/4 time. The score consists of two staves, treble and bass. The melody is primarily in the treble staff, with the bass staff providing harmonic support. The piece begins with a treble staff containing a whole note chord (G4, B4) and a bass staff containing a whole note chord (G2, B1). The melody then proceeds through several measures, including a key signature change to one sharp (F#) and a final measure with a double bar line and repeat dots.

● 初見唱

Moderato (♩=84)

The musical score consists of two staves. The first staff begins with a treble clef, a key signature of one flat (B-flat), and a time signature of 3/4. It contains several measures with notes, rests, and dynamic markings. A triplet of eighth notes is indicated by a '3' above it. The second staff continues the melody with similar notation, including a triplet of eighth notes and various dynamics like 'sempre f' and 'p sub.'. The tempo 'Moderato' and metronome marking '(♩=84)' are written at the top left.